

ひろげる つながる ろうけんの輪

ろうけん

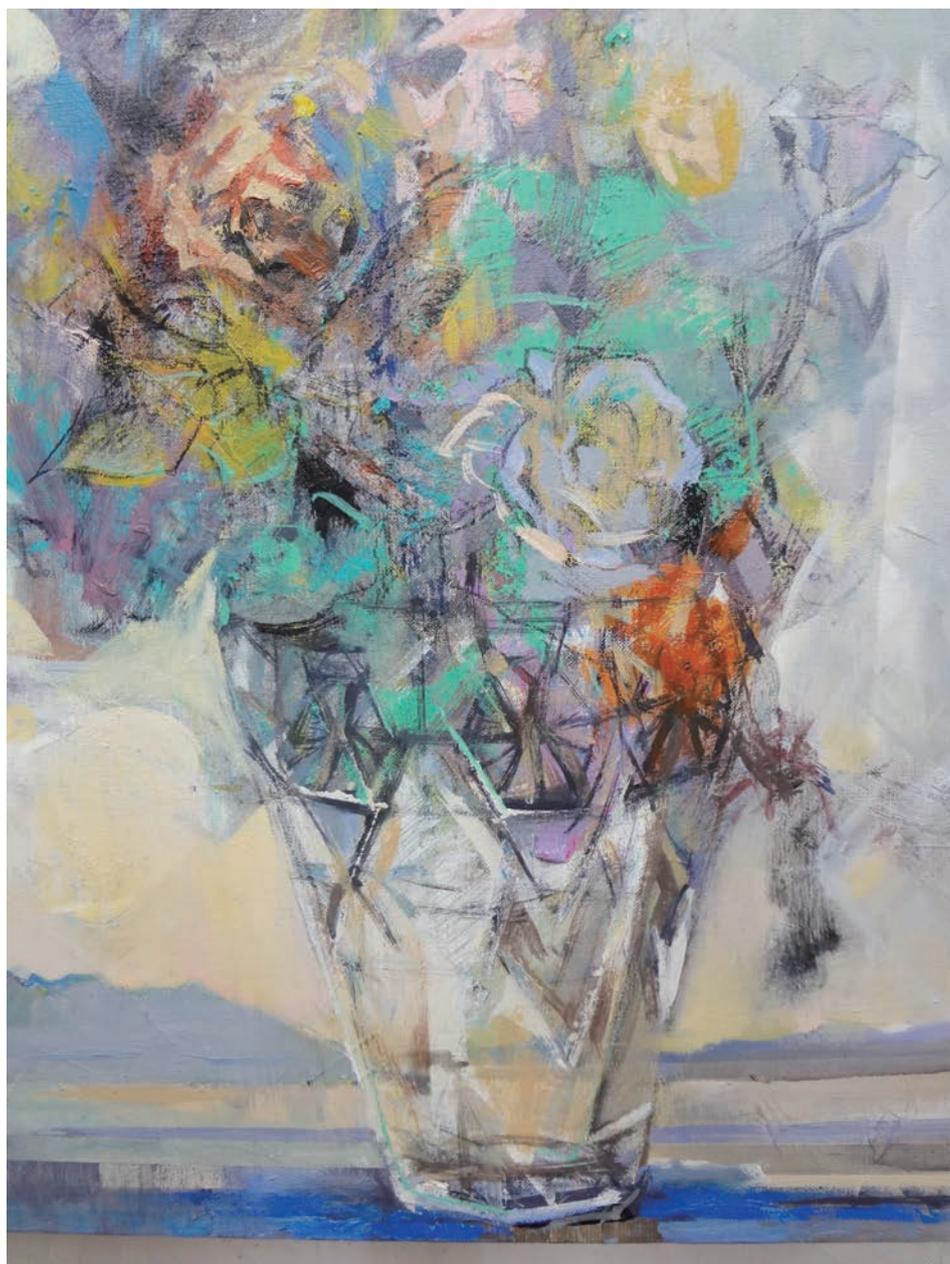
ROKEN Kagoshima

鹿児島



No**114**

令和6年(2024)
1月1日発行



「窓辺 MORNING」 祝迫 正豊

公益社団法人 鹿児島県老人保健施設協会

INDEX

時代を読む 1
 今村 英仁
 第34回 全国介護老人保健施設大会 宮城 ... 2~3
 研く 究める 4~7
 令和5年度 研修会 8~10
 協会だより 11
 ぶらぶらが素敵 かがしま¹⁴ 12~13
 こぼれおちたものもの³⁸ 14
 三角 みづ紀
 ふるさとフォーカス 15
 ろうけん広場 16
 かごしまの食卓 冬編 17
 介護用品あれこれ 18~19
 あなたの地域の介護老人保健施設 20~24
 伊佐・始良地区
 日置・川薩・北薩地区
 鹿児島地区
 曾於・肝属地区
 南薩地区・熊毛・大島地区
 表紙絵
 「窓辺 MORNING」 25
 祝迫 正豊
 編集後記 25

ろうけんとは

「ろうけん」とは、介護保険が適用される介護老人保健施設の愛称です。県内の76カ所の施設が公益社団法人鹿児島県老人保健施設協会を組織しています。この冊子「ろうけん鹿児島」は、同協会の広報誌です。

時代を読む

「生き残り」に命を懸けるか 「勝ち抜き」に力を入れるか

鹿児島県老人保健施設協会 代表理事

今村 英仁



新型コロナ禍もようやく落ち着いてきました。

ただ、高齢者施設では誰かが新型コロナウイルスを施設内に持ち込めば、クラスター化するのを避けられない状態であることは変わりありません。これまで様々な補助金でコロナ対応を行うことが可能でしたが、2類相当から5類に変更になり、補助金もほとんど削減され、今年3月には補助金の制度自体が廃止となります。

このポストコロナの時代は、ポスト前の平時の状態に戻るのでしょうか？それとも、ニューノーマルの時代となるのでしょうか？

ニューノーマル時代の到来
出生数の激減が止まらず、年

間100万人の出生数を切った後、いきなり80万人台の出生数となり、とうとう令和5年度は70万人台となりました。1940年代、約270万人のピーク出生数からするとほとんど4分の1です。

また、以前でしたら健康的な不安が生ずればすぐに医療機関に駆け付けるのが普通でしたが、コロナ禍を経て、国民の多くがしばらく経過を見て、すぐには医療機関にはかからない受療行動に変わってきました。

どうやら、コロナ以前の平時の頃に戻るのではなくて、少子高齢化や様々な社会現象も加速度的に進むニューノーマル（新常态）の時代が変わったのは間違いないでしょう。

このような中、実態調査の結果が出され、介護老人保健施設の経営状況は、この制度発足後初めて赤字に転落しました。真面目に老健を運営していても、介護報酬だけでは赤字になってしまいう実態が明らかになりました。

全老健としては、勿論、物価高騰と人件費の上昇でただでさえ厳しい経営状況での今回の結果ですから、トリプル改定の介護報酬見直しにおいて大幅な報酬引き上げをお願いしています。

ただ現実には、そう簡単にことは運びそうにありません。国自体にお金がない中で、新しい袖は振れないというのが国の主張です。たとえ、介護報酬アップが図られたとしても、現場が望む数字からはかけ離れた結果となるのが目に見えています。

それでは、どうすれば良いか？特に、少子高齢化が都市圏に比べ10年以上早く進む地方において、働く人材の不足とご利用者の減少というダブルパンチは構造的にどうしようもない事態です。この点についての配慮を求めることは全老健の中でも主張し

ていきます。ただ、それらの主張が理解され、制度として変更がされるのには残念ながら時間がかかるのは間違いありません。また、どのように制度変更を行えばよいかについては他人任せにしては答えが出ません。地方の老健で働いている方々が知恵を出し合って、地方の老健が持続可能な経営が出来る制度設計を提言する必要があります。是非、皆さんにも真剣に考えていただきたいとお願ひ致します。

さて、そのような制度に改められて我々が安心して老健で働くことが出来るようになるまでの間、我々はどうすれば良いのでしょうか？一言で言えば、答えはありません。ただ、ここで諦めてしまえば終わりです。答えはないのですが、ここは決してあきらめずに、勝ち抜くために全力を掛けるか、それとも、生き残りに命を懸けるか、ともかくにも「キバル」ことが肝要と考えています。鹿児島県老健協会も皆さんと一緒にキバリますので今年も宜しくお願ひします。





主催者を代表してあいさつする東憲太郎・全国老人保健施設協会会長

開会式では大会会長の小林誠一・老健協宮城県支部長が「12年前に東日本大震災を経験し、地域共生社会の必然性を痛感してきた。大会で全ての世代がつながり、一人一人が生き生きと生活できる地域社会にするために、どのような貢献ができるのか考えた」と、あいさつしました。

宮城大会は2020年に開催予定でしたが、新型コロナ禍で3



演題発表の会場は全国から集まった参加者でいっぱい



「整容ケア等2」の会場で座長を務めたろうけん青空の後藤裕貴さん

年間延び、今回実現にこぎつけました。これを受けて全国老健協の東憲太郎会長（南さつま市加世田出身）は、「コロナ禍を超えて全国から一堂に集まることのできた。日頃の苦労や未来の夢を語り合い、交流する大事な機会にしてほしい」と述べました。

三つのシンポジウムがあり、令和6年度介護・医療同時改定の視点と介護DX「人材確保対策の現状と今後への期待」「ICTの利用促進は現場の変革をもたらすか」と、それぞれ「今」に焦点を当てたテーマで、専門家が熱く語り合いました。

演題は「全般的なケア」「リハビリテーション」「業務改善と効率化」「リスクマネジメント」「在宅支援と地域連携・地域包括ケアシステム」「人材」「医療と看護介護」「レクリエーション」など。全国から参加の職員たちが、普段の取り組みや研究成果について、わかりやすく説明しました。

Roken Report



地域共生社会の復権と老健をテーマに開会した大会会場。全国の関係者が参加した

鹿児島県関係の演題と発表者

COVID-19感染後の入所者への影響を考察する 感染前後をデータより比較・検討



まろにえ(鹿児島市) 看護師 前永 和枝さん

在宅復帰に向けて～「在宅サービス支援シート」の活用



ナーシングホームひだまり(鹿屋市) 理学療法士 佐藤 晃季さん

よかとがあいもんじゃ! ～眠りSCANの多様性と効果



ナーシングホームひだまり(鹿屋市) 介護福祉士 草壁 亮輔さん

ホール対応って、あり?なし? 尊厳と事故防止を重視したホール対応ゼロへの挑戦!



サンセリテのがた(大崎町) 作業療法士 山口 翔平さん

病棟における看取り看護の実態 後悔のない看取り看護をするために



愛と結の街(鹿児島市) 介護福祉士 福島 昭平さん

1日目の「整容ケア等2」をテーマとした会場では、ろうけん青空(鹿児島市)の後藤裕貴さんが座長を務めました。

第34回 全国介護老人保健施設大会 宮城
「地域共生社会の復権と老健」
～デジタル化時代の絆～

全国から3000人が参加
演題発表通し課題共有
鹿児島の5人が登壇

第34回全国介護老人保健施設大会宮城は、昨年11月21、22日の両日、仙台市の仙台国際センターで開催されました。大会テーマは「地域共生社会の復権と老健」デジタル化時代の絆。全国から約3千人が参加しました。

全国から636件の演題発表があり、鹿児島は4施設が発表しました。「介護ロボット・AI」のセッションでは、ナーシングホームひだまり(鹿屋市)の介護福祉士・草壁亮輔さんが「よかとがあいもんじゃ! (いいものがあるものだ)」と、鹿児島弁を交えたユーモラスな題目を掲げて登壇。見守り支援システムを導入した後の職場環境についてアンケートなどを実施、一定の成果を上げていることを説明し、会場からの質問にもテキパキと答えていました。



研究 究める

業務中における身体痛へのアプローチ

介護老人保健施設西千石（鹿児島市） 介護福祉士 松下 皓信

よりよい介護を日々研さんを重ねている各施設・各職種から、あらゆる工夫と努力の経過や成果を報告します。

【はじめに】

介護職の年齢構成は30～49歳が主流となっているが訪問介護においては60歳以上が約3割を占めている。

当施設においても介護職は4代～50代が大半を占めている。その中でも腰痛は介護職員によくある退職理由のひとつである。

介護業務は体重のある高齢者を支えたり、抱えたりする為、多くの方が腰痛に悩まされているのが現状である。

そこで当施設でも老健施設全職員にアンケートを取り、現在抱えている身体痛がある部位についてアプローチをしたのでここに報告する。

【方法と対象】

老健全職員50人を対象に現在業務に就いている身体痛についてアンケートを実施

- ・事務 4人・ヘルパー 4人・老健リハビリ 8人・老健デイケア 10人・老健入所 23人

※アンケート結果



- 腰 25人 肩 7人 膝 2人 両足 1人 無し 15人
- ・以上の結果によりアプローチ部位を腰に決定する。
- ・腰痛を抱える介護福祉士10人を対象に研究委員考案の腰痛改善ストレッチを1カ月施行していただく。

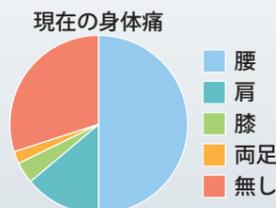
業務における身体痛に関するアンケート

1. 年齢・性別

男性 20 女性 30

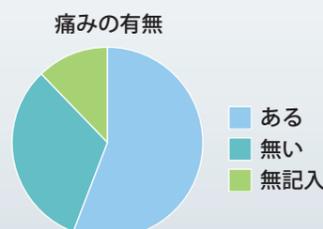
2. 現在身体痛はありますか？また部位を教えてください。

腰痛 25人 肩 7人 膝 2人 両足 1人 無し 15人



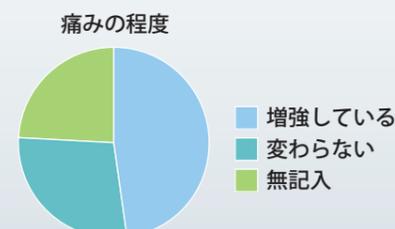
3. 以前から痛みはありましたか？

ある (28) 無い (16) 無記入 (6)



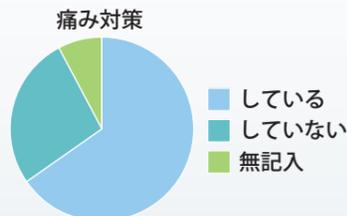
4. 痛みは現在の職場に就いてから増強していますか？

増強している (24) 変わらない (14) 無記入 (12)



5. 痛みを起こさない、また、悪化防止の対策をしていますか？

している (34) していない (12) 無記入 (4)



- ・セトルまたはコルセット
- ・ボディーメカニクス
- ・整体、整骨、マッサージ
- ・ストレッチ etc

その他の回答

- 1週間に1～5回(勤務が続くと増える)
- 2日に1回は痛みを感じる
- 負荷が掛かった時
- 休日明けでの仕事後
- 痛みがある時と無い時がある
- 不意に出てくる

6. 現在の痛みの程度はどの程度ですか？(0から5)

①: 6人 ②: 5人 ③: 13人 ④: 9人 ⑤: 1人

7. 痛みに対して最も負担が掛かる動作は何ですか？

- ・利用者を抱える、支える時
- ・立ち上がりの介助、前傾姿勢
- ・おむつ交換、トイレ介助、移乗動作

【研究期間】

令和4年7月4日～令和4年8月3日まで (31日間)

【結果】

7月4日～8月3日までの31日間で各日とも10人中約半数がストレッチ施行出来ていた。出来なかった理由として勤務上夜勤の為又は私用などであった。

ストレッチ後の感想としては

- ・1か月後新たな腰痛は起こらずすっきり感がある。今後も続けて行こうと思う。
- ・運動不足で股関節が硬かったが少し関節の動きが良い。腰以外にも効果ある。今後も継続したい。
- ・腰痛は出現するがストレッチ

腰痛ストレッチを終えてのアンケート結果

1. 腰痛ストレッチを終えて腰の調子はどうか

A.良くなった2人 B.変わらない8人 C.悪化した0人

2. 介護知識、技術を学ぶ事の必要性を感じるか

必要9人 ある程度必要1人

3. 今後勉強会、研修があれば参加したいか

参加したい10人

【考察・まとめ】 現場スタッフを中心に腰痛を抱える割合が多い事が分かった。事前アンケートでも対策をしていないとの声も少数あったが、大半は腰ベルトや日々の業務の中で動きや姿勢に注意して仕事に取り組んでいた。 今回の研究を通して休日や仕事終わりに通院する事が難しくても自宅で取り組めるストレッチ等で腰痛悪化予防に努める事で、末永く介護職に従事出来る様に今後も腰痛に対する意識改革とストレッチの考案、PTとの連携を図った勉強会を開催して腰痛防止にスタッフ全体で取り組んで行きたいと思う。

ろうけん113号の4ページ「研究 究める」のコーナーにて、石躍智博様の肩書きが「作業療法士」となっており、正しくは「介護福祉士」です。ご本人様をはじめ関係者ならびに読者の皆様にご迷惑をおかけしましたことを深くお詫び申し上げます。

研く究める

よりよい介護を旨とし日々研さんを重ねている各施設・各職種から、あらゆる工夫と努力の経過や成果を報告します。

技能実習生の受け入れを通して学んだこと

介護老人保健施設 スイートケアなかよし（鹿児島市） 介護福祉士 坂口 亜季

【はじめに】

現在世界的に高齢化が進んでおり日本の介護技術の移転は国際的にも意義のある事とされています。また日本では少子化が進んでおり介護人材不足が懸念されています。そこで、当施設では令和3年2月から、介護の技術指導が出来る環境下でミャンマーからの技能実習生を2名受け入れていきます。今回は技能実習生の受け入れを通して指導方法や職員の意識がどのように変化したかについて発表します。

【受入れ前】

全職員へ実習生の受け入れについて説明会が行われました。説明会の際、言葉の問題や指導について不安の声が多くあった為、ミャンマーについて生活習慣や宗教、文化などをポスターにし紹介しました。

【日本語の習得】

目標として、仕事の情報共有を職員と行える程度の日本語の習得を目指しました。業務記録は、職員が仕事内容を簡単な言葉で伝え、全て日本語で書いてもらい添削しました。また、日本語検定N3の試験勉強

また、すでに実習生を受け入れている施設を見学し指導内容や注意点などを勉強しました。

【生活及び労働環境の整備】

生活指導員がゴミの分別や買い物の方法、バスの乗り方といった指導を行い、困った事があつた場合はラインですぐに連絡をとれるようにしました。環境整備については、実習生の管理団体にも面接の都度生活や労働環境の確認をしてもらいました。

【技術指導】

利用者や職員との会話は必ず日本語で行うようにしましたが利用者の方言は標準語と違うことがあるため、職員が通訳し楽しみながら学ぶようにしました。

当施設で活用している、ケアの

Table with 2 columns: 項目 (Item) and 内容 (Content). It lists various care tasks like food service, bathing, and laundry with checkmarks indicating completion or status.

図①

【利用者との関わり】

ケアはケアプランに添って行いましたが、ケアプランの文章は漢字が多く理解困難な為、利用者情報シートを作成しました。(図②) シートには利用者の状態把握が出来るように、ケアの注意点など職員が口頭で伝えたものを日本語で書いてもらいました。実習1年目の技術評価試験が終わるまでは、必ず職員と一緒に行動しました。利用者との話す時間をなるべく多くし、敬老会では民族衣装で踊りを披露しました。実習生はいつも笑顔で優しいため、利用者が違和感を持つ事もなく、スムーズに受け入れてくださいました。日本の生活や仕事に慣れるだけでなく季節の行事、お祭りなどに参加する事も日本の文化を知る貴重な

体験であると考え、お正月は着物で日本の文化を体験し、夏祭りやお祭りに参加しました。(写真)



Figure 2: A table with handwritten notes in Japanese, detailing care plans and observations for users.

【職員アンケート】

実習開始1年半後に、全職員にアンケートを行いました。(表①) 実習生と全職員が関わる事で、これまで指導した事がない職員も指導者としての意識の変化やケアの在り方を見直す事が出来ました。介護技術を日本語で理解してもらい難しさを何度感ぜたら実習生の理解に繋がるのか常に考えさせられました。

【結果】

実習生が懸命に仕事や日本語を覚える姿から、職員も丁寧なケアや言葉遣いを心がけ、職員の意識の向上がみられました。現在では実習生自ら利用者の心身の状況に応じた介護を実践出来るようになり利用者の満足に繋がっています。日本人同士では暗黙の内に進めていた事を明確に言葉にし、報告連絡を行うようになりました。

実習生に対し正確な伝達方法を職員間で考え、今まで以上に情報共有が出来るようになりました。実習生が確実に成長する事で技術指導に自信が付きました。

【今後の課題】

技能実習生を受け入れることで職員の意識向上に繋がり、今後も受け入れていく事は意義のある事だと考えます。しかしながら、指導、育成には時間と指導者の確保が必要です。今回は、日本語学習のサポートが十分に行えず、指導者の質の向上も今後の課題と思われまます。

新たに実習生を迎えるに当たり実習生の更なる育成に全職員協力し取り組んでいきたいと思えます。

アンケート

- ①実習生が来る前と後で 仕事に対してどのような意識の変化がありましたか
②指導を行ううえで、どのようなことが難しいと感じましたか

表①

- ・教育に関する研修を希望
- ・これからの通所リハビリテーションの運営

5. 所感

研修会の評価は好評を得ました、一方理解度に関しては十分とは言えず、部分的に理解できなかった方もいたようです。意見や感想では、環境づくりが利用者のリハビリにつながり職員にも影響を及ぼすなど興味深い内容だったと視えます。

今回は「認知症について」の予定です、取り上げて欲しいテーマでもありますので皆様の参加お待ちしております。ご協力ありがとうございました。

絆 河崎 義明

在宅ケア・支援相談部会

日時：令和5年8月29日（火）14：00～16：00（質疑応答時間を含む）

会場：鹿児島県医師会館3階中ホール及び

Zoom同時配信等によるハイブリッド方式

回答者：13名

（回答者の役職等 ケアマネージャー・支援相談員・リハビリ職・事務長）

参加方法：Zoom（YouTube）

テーマ

「生きるを支える地域のサポート」

講師：堀之内 克行 先生（社会福祉法人高齢者介護予防協会かごしま）

【アンケート結果】

1. 評価

- ・非常に良かった 9名
- ・良かった 4名
- ・普通 0名
- ・あまり良くなかった 0名
- ・良くなかった 0名

2. 今後、改善したほうが良いと思う項目

- ・時間帯
- ・開催 0名
- ・場所 0名
- ・Zoom 3名
- ・YouTube 0名
- ・内容 0名

3. 改善して欲しい理由

- ・Zoomが繋がらなかった。

令和5年度 研修会

第1回PT・OT・ST部会

日時：令和5年9月13日（水）14：00～16：00

会場：鹿児島県医師会館3階中ホール及び

Zoom同時配信等によるハイブリッド方式

アンケート：6名 Zoom(15施設 34名)

テーマ

「ケアに活かす環境づくり～インテリアリハビリテーションの概要と実践方法」

講師：池田 由里子 先生（株式会社リハブインテリアズ 代表）

【アンケート結果】

1. 評価

- ・良かった 7名
- ・非常に良かった 1名

2. 理解

- ・どちらかといえば理解できた 2名
- ・よく理解できた 2名

3. 意見や感想

- ・インテリアリハビリテーションの効果を数値でみる事ができたらよい。
- ・環境について様々な視点から考えることができました。
- ・環境のもたらす効果を理解できました。
- ・これまで環境について考える事が少なかったので大変興味深い内容でした、早速食器の変更を検討します。
- 〈Zoomより〉
- ・インテリアのもたらす意識について面白さを感じました。
- ・作品の飾り方を工夫することによって効果に影響がでること、自己決定を促すための服の収納方法など具体例を学べたのが良かった。
- ・環境づくりが利用者のリハビリにつながり、職員採用や離職予防にも影響を与えることを知りました。
- ・私共の施設では排泄時、ブレイク忘れ防止の紙を壁に貼り注意喚起していますが、他に転倒事故を減らすための取り組みや工夫、改善例があれば教えてもらいたい。
- ・整理収納で効率化出来る部分が増えれば、効率化できない部分に時間をかけることができるといった言葉は印象的でした、利用者との時間確保に役立つので実践できればと思います。

4. 今後研修会で取り上げて欲しいテーマや講師

- ・認知症について
- ・認知症のケア



協会だより

令和5年11月～

●令和5年度第2回PT・OT・ST部会

開催日：令和5年11月8日(水)14:00～16:00

場所：医師会館3階中ホール及びZoom・YouTubeによる配信

テーマ：「OTの立場から見る認知症高齢者に対するアプローチ等」

講師：池田 由里子 先生(鹿児島大学歯学域医学系医学部 保健学科助教授)

●第10回県民公開講座

開催日：令和5年12月9日(土)

場所：よかど鹿児島

(鹿児島銀行本店ビル1階 賑わい広場)

テーマ：「チャレンジ！宇宙への挑戦！！」

講師：宮里 光憲 先生(JAXA 職員)



●令和5年度第2回在宅ケア・支援相談部会

開催日：令和5年12月13日(水)14:00～16:00

場所：医師会館3階中ホール及びZoom・YouTubeによる配信

テーマ：「家族支援－介護家族の現状と心理－」

講師：岩下 周子 先生(社会福祉法人富士福祉会 施設長)

●令和5年度第1回看護・介護部会

開催日：令和6年1月10日(水)14:00～16:00(質疑応答を含む)

場所：医師会館3階中ホール及びZoom・YouTubeによる配信

テーマ：「高齢者の心身の理解」(仮題)

講師：中村 倫丈 先生(今村総合病院 看護師)

●第28回鹿児島県介護老人保健施設大会

開催日：令和6年2月27日(火)～28日(水)(予定)

場所：鹿児島県医師会館3階及び4階

テーマ：未来を創る 老健チャレンジ～働き手クライシスに打ち克つ～

特別講演：令和6年2月27日(火)15:00～17:00(予定)

テーマ：2024年介護報酬改定について(仮題)

講師：佐野 隆一郎 先生(厚生労働省老健局 老人保健課)

【ご参考】

●第22回九州ブロック介護老人保健施設大会美ら沖縄

開催日：令和6年2月1日(木)～2日(金)

場所：沖縄コンベンションセンター

テーマ：いちやりばちよーでー老健～在宅生活支援・私たち老健の役割～

・Zoomへの接続がスムーズに行えなかった。

・特にありませんが、開始直前に入れませんでした。迅速な対応をしていただき、視聴することが出来ました。ありがとうございました。

4. 次回はどのような研修会を希望しますか(テーマ・内容・講師など)

・利用者に対する言葉遣いや態度等をよりよくするために相談員としてこんな関わり方が有効であった等、具体的な方法があれば教えてもらいたい

・看取りリハビリマネジメントの事例を通じた在宅支援の取り組みについて

・ACP や看取り期におけるケア、各施設の在宅復帰における取り組み、超強化型老健のポイント維持の工夫や取り組みについて

・チームワーク

・技能実習生について

5. 本日の講師や、研修の内容について、感想をお書きください

・今後の参考にさせていただきます。ありがとうございました。

・ご自身の経験等を含めて分かりやすく、お話して頂きありがとうございました。施設の職員として働いていると、感染対策上でも家族・地域とのつながりが薄くなる事が当たり前と思っていたことに気づきました。施設に入っている、地域や家族とのつながりは大切であり、利用者やご家族に接していきたいと思いました。

・今回ZOOMにスムーズに入れず慌てましたが、ユーチューブにUPしてあることで、再度聴講ができたので良かったです。利用者様の背景や歴史を大切に、どのような生活を望んでいるのか、本人・家族・施設で一緒に考えていきたいと思います。

・講師のお話や事例内容が良かった。

・住み慣れた地域で生活するという事、地域を離れる事の弊害等踏まえ、在宅を見据えた支援を入所当初より取り組んでいくことで、よりスムーズに在宅生活に移行し長期間ご自宅で生活が継続できるものと感じた。また私たちの住まいの地域や老健の地域においても同様につながりを持ち続ける事を意識し高齢者も障がい者も対等に生活できるように地域と共にノーマルな社会がこれからも継続できるように働きかけやかかわりを持ち続けたいと思った。

・実体験や著名人の言葉等を教えていただき、大変分かりやすい研修でした。バイスティックの7原則やマズローの欲求階層説等、改めて必要な姿勢がいつも行えているか自己覚知を行いながら、今後の支援に活かしていきたいと思います。ありがとうございました。

・ご自身の体験を交えて、お話しくださったので分かりやすかったです。

・丁寧で聞き取りやすい研修でした。他部署とも情報共有し、今後の業務に活かしていきます。

・ご自分の身近なご家族や地域の方の事例をあげてくださり、理解しやすかったです。「生きる」支援を心掛け、改めてご利用者へ向かう姿勢を学びました。ありがとうございました。

・制度面の話から、老健に求められる役割や大事な視点到気付かされました。相談員だけでなく、全職員に聴いてほしい内容でしたので、ユーチューブの見逃し配信を他職員に紹介して研修を受講してもらいたいと思います。

・地域における福祉活動の本質は「つながり続けること」がとても大事だという事が分かりました。また支えて自身のメンタル管理も大事だという事にも気づかされました。とても分かりやすく、参加できてよかったです。

愛と結の街 介護福祉士 中村 真由美



江ノ口橋



川沿いの石積み



高江麓



高江麓



長崎公民館の田の神



長崎寺阿弥陀如来像



代官塘



高江の広い田んぼ



旧麓

南北600キロに及ぶ鹿児島県。気候や風土、文化に歴史にもそれぞれの地域に特徴があり、県内をめぐるだけでも相当な発見があります。そのような鹿児島県の意外な魅力を様々な角度から訪ねてみる連載です。

ぶらぶらが素敵 がごしま

vol.14

東川隆太郎
NPO法人まちづくり地域フォーラム
かごしま探検の会代表理事



薩摩川内市高江地区を訪ねて① 歴史物語を伝える 史跡の宝庫広がる

川内川河口①

川内川の河口近くに位置する薩摩川内市高江町。江戸時代までは高江郷と呼ばれていた。郷高は約330石で、現在の峰山小学校周辺に武士の居住地区であった麓が広がっている。川内川の洪水対策を常に施しながら新田開発を行い、現在は豊かな田園地帯が広がっている。川内川の河口には久見崎と呼ばれる薩摩藩の軍港もあり、その山手となる寄田には藩の牧場もあった。それだけに、幅広い歴史物語を伝えてくれる史跡の宝庫ともいえよう。今回は、それらのいくつかをご紹介します。

まず、高江郷の政治や経済の中心であった麓だが、実は嘉永2(1849)年頃に近くの川内川沿いから大移転した経緯がある。つまり、現在風に表現するならばニュータウン。川内川の洪水によって居住はもとより、農業生産にも甚大な影響があったことから、地域の官財を投入して大規模な土木工事を行った。

その際に八間川という地域の中心を流れる河川沿いに用水路の整備や石橋の架橋を行い、交通も便利にすることに成功

した。その石橋は、肥後の名工である岩永三五郎が建設に関与したもので、美しい二連アーチの姿を現在でも楽しむことができる。

その上流にある川を渡す水路の通水橋も見事である。また八間川沿いでは、当時の石組がしっかりと確認することができ、現在にも通じる工法であることが理解できる。

なお新田開発は江戸初期にも行われおり、山手に近い平野部には代官塘と呼ばれる干拓でできた石積みもある。さらに、川内川沿いの長崎集落には、廃仏毀釈によつて廃寺となった曹洞宗の長崎寺があり、その本尊が公民館のなかに大切に安置されている。特別に拝観させていただいたが、中央の阿弥陀如来像は平安後期の作とされ、脇侍も鎌倉期の作という。それらは常時の公開ではないが、地域の人々が大切に公民館で守りついでいる。

その公民館の庭には寺院があったことを彷彿させてくれる石塔や田園地区をやさしく見守る田の神様もあり、これらは自由に見学することができる。この地区には、まだまだご紹介したい文化財があるので、続きは次回に。

(ひがしかわ・りゅうたろう) 1972年、鹿児島市生まれ。鹿児島大学理学部地学科卒業。自他共に認める「まち歩き」のプロ。ガイドや講演会活動を通じて鹿児島島の魅力を伝える活動を続けている。



①国の登録有形文化財の池田家住宅（主屋）。明治期の建物で、周辺の家並みとは異なる雰囲気がある。ここが新たなまちづくりの拠点に…。
②主屋の横に立つ石倉。ここに集積された米が加治木方面に運ばれていた。
③主屋2階の道路側窓や欄間は今では貴重なものだ。
④JR 大隅横川駅は県内最古級の本造駅舎。肥薩線の駅で、観光客が多く訪れている。



「池田家住宅」(霧島市横川)

霧島市横川のJR大隅横川駅前の通りを歩くと、レトロな建物と石倉がひととき目をひく。「池田家住宅」主屋と石倉で、国の登録有形文化財になっている。明治末期の建物とされ、木造2階建て。1階は伝統的な町家造り、2階は洋風な外観で、かつて米穀類・日用品の商店だった。大隅横川駅で、荷下ろしした米をここに運び入れ加治木方面に送り出したという。現在の持ち主の池田研一郎さん(67)鹿児島市に特別に案内してもらった。大正期に増築したとされる2階部分の外壁は、よろいのような「下見板張り」構造で、上げ下げ窓も、柱と梁の大きさに驚いた。欄間は意匠を凝らした貴重なものだそう。横川地区は山ヶ野金山で繁栄したが、1953(昭和28)年の閉山とともに衰退。池田家住宅も

レトロな建物を新拠点に

援「目的の賞に応募して最高賞を獲得。賞金を活用して池田家住宅の古道具類を整理・室内改修し、レンタルキッチンや高性能PCを備えたデジタルクリエイター育成塾をつくる計画だ。多様性理解のための講座なども予定しているという。一人が集まり交流が始まることで、ここが地域づくりに活用されるような拠点にしたい」と白水さん。地域の宝として受け継がれて発展していく池田家住宅から目が離せない。(編集委員・米森)



もうすぐ朝焼けの時間なのに、暗いままの窓の外を眺める。昨日は雨だったので、今日も雨なのだろうか。はじめての出来事といえば、パペ

際も、パペレリアに行つて印刷してもらおう。A4サイズよりもちよつと小さくて文字も擦れているが、読めるのでいいだろう。三ヶ月のあいだ借りる部屋は、

この国では、生野菜を食べるときには消毒しなければならぬ。ペットボトルの水をボウル代わりにそのいで、野菜用の消毒液を垂らしたのちに、市場のトマトと玉ねぎと香菜をつけておく。月曜日の市場で求めた卵を冷蔵庫から取りだす。スーパーマーケットで買った大きなパイナップルもある。トマトも食べよう。しっかりとした朝ごはんになる。メキシコシティに到着して二十日くらい経っていた。三ヶ月の滞在は長すぎるかなと思つたけれど、さしあたり三週間はあつというまだった。旅行者ではなく生活者でもない曖昧さで、はじめての出来事と出会うつづける。

果てしない地球で漂う



レリアの存在。紙屋さんのこと。文房具屋さんとも少し違って、封筒や切り紙を専門に扱う。こうやって書いているエッセイを印刷する

旅行者だとしても生活者だとしても、生きるという点では変わらない。他者にどう思われようと、わたしも朝を告げるみたいに懸命に綴つていきたいと考えながら、宇宙

わたしたちは四階の屋上部屋で生活している。朝焼けも夕焼けも、鮮やかに咲く鳳凰木の花の橙色もすぐそばにある。ここを選んでよかったと心から思う。この部屋を、この町を。

中心地より地下鉄で三十分以上離れていて、個人商店が多い町にある。月曜日だけひらかれる市場も好きだし、散歩の途中で発見したお店をひやかすのも楽しい。首都のシティを拠点として広大な国をめぐる予定で、あまりの遠さに目眩がする。わたしが起きるころ、横浜に住む両親は夕食をとっている。地球の果てしなさ。熱帯に位置して、標高が二〇〇〇メートルを超えていて、公用語がスペイン語の場所。驚く事象が多いのは当然で、きちんと馴染めていないわたしはふわふわと漂っている気分だ。母語の国にいても、根付かないままなのに。晴れでも雨でも、日がのぼる時刻になったら、部屋の前の木に住む鳥たちがいつせいに歌いだす。けたたましく鳴くものたちは、いかなるときでも全力で生きている。

午前八時半くらいに、けたたましいハンドベルの音が聞こえてくる。ゴミ収集車がやってきた合図。夫が黒いゴミ袋を持って、階段を駆け降りていく。チップとして十ペソを渡して、ゴミ捨てはおしまい。かすかな陽光が左の頬を照らして、今日はとても暑くなる予感がしてきた。まもなく死者の日がくる。些細ではあるが変化した生活のなかでクリスマスが過ぎ去って、新年もこの町でむかえるのだった。

三角みづ紀(みづき) 1981年鹿児島市生まれ。東京造形大学視覚伝達学科在学中に現代詩手帖賞、第1詩集で中原中也賞を受賞。第2詩集で南日本文学賞、歴程新鋭賞受賞。著書多数。執筆のほか朗読活動も精力的に行い、国内外の詩祭に招致される。近年は美術作品として詩を制作する等、あらゆる表現を現代詩として発信している。第22回(平成26年度)萩原朔太郎賞受賞

みづきみづ紀 フォーカス

霧島市横川のJR大隅横川駅前の通りを歩くと、レトロな建物と石倉がひととき目をひく。「池田家住宅」主屋と石倉で、国の登録有形文化財になっている。明治末期の建物とされ、木造2階建て。1階は伝統的な町家造り、2階は洋風な外観で、かつて米穀類・日用品の商店だった。

空き家となっていたが、今、この建物をまちづくりに活用する動きが進んでいる。同地区で古民家カフェ「横川kinto」(白水梨恵オーナー)が「地域の財産として生かしたい」と整備計画を策定。昨春秋、アメリカン・エクスプレスが主催する「多様性に配慮した店作りとビジネス成長の応



「あたらしき」 あたらしきについて声にだすずつとまえからそこにあつて勝手に発見したわたしたちはわたしたちの視点ではじめてあたらしきを 語り得るのだ サボテンの鋭さが示した先に入り口も出口もどちらもあつた

千葉しのぶさん
冬編

かごしまの食卓

ちばしのぶ NPO法人霧島食育研究会理事長、管理栄養士・フードコーディネーター。「霧島・食の文化祭」「かごしま郷土料理マイスター講座」などを主宰する。2020年千葉しのぶ鹿児島食文化スタジオを設立。著書に「はじめての郷土料理」(燦燦舎)など。

里芋と豆もやし、もちだけのシンプルな雑煮です。家族だけの正月の食卓にのぼったものです。ダシは鶏ガラでとり、麦みその甘い香りの汁に、鶏の旨みや脂が染み出し、一層よいコクとなります。里芋には「子孫繁栄」の願いが込められています。丸ごと下ゆでし、ずっと箸が通るくらいに柔らかくしてから汁で煮込みます。

みそ味の雑煮



鶏ガラがない場合は、手羽先を3、4本使うとよいでしょう。

- レシピ 4人分
- 鶏ガラ 200g
 - 鶏手羽先 1本
 - 水 5カップ(1ℓ)
 - 麦みそ 80g
 - 酒 大さじ1
 - 里芋 大4個(600g)
 - 豆もやし 100g
 - もち 4個

- ①鶏ガラはざるに入れ、上から熱湯をかけて流水で洗う。手羽先とともに鍋に入れて水1ℓを加え、はじめ強火その後沸騰が続く程度の火力で約30分煮る。
- ②①をざるでこし、水を足して1ℓにする。
- ③里芋は皮をむき、竹串がすっと通るくらいまで丸ごとゆでる。
- ④豆もやしは根を落とす。もちは焼く。
- ⑤②に麦みその半量を溶き入れ、③の里芋を入れて5、6分煮る。④の豆もやしも加える。
- ⑥⑤に残りの麦みそと酒を入れ味見し、味を調べ、椀に里芋、焼いた餅、豆もやしの順に盛り、汁を注ぐ。

数の子なます



【数の子の塩抜き】塩かずのこは水1ℓに塩小さじ1を溶かした塩水に1日つけて、少し塩味が残る程度まで塩抜きしましょう。時々口に含んで塩味を確かめましょう。

正月に使う食材には「縁起を担ぐ」意味合いのものが多いようです。数の子もその一つ。ニシンの卵であることから「二親(にしん)健在」、その卵の多さから「子孫繁栄」の願いを込めています。なますは大根と人参で紅白にすると、めでたさも一層増します。塩数の子は塩分を抜きすぎると苦みを感じるの、ほんのり塩気が残る程度にするのがよいでしょう。

- 塩抜きした数の子1本、めんつゆ大さじ2 (または市販の味付け数の子1本)
- 大根 150g
- 人参 50g
- 塩 小さじ0.5
- 合わせ酢 (砂糖大さじ1.5、酢大さじ1、塩小さじ0.5)
- 黒ごま 少々

- ①塩抜きした数の子は手で10等分にちぎり、めんつゆに浸し味付けする(味付け数の子でもよい)。
- ②大根、人参は千切りにし塩でもみ、しんなりしたら水で洗いしっかり絞る。
- ③合わせ酢を作り、①②を加え混ぜる。
- ④器にこんもりと盛り付け、黒ごまをふる。

ろうけん広場

公共施設の食堂訪ねた

公共施設に設けられた食事処(どころ)を探して鹿児島市内を歩いてみました。役所、学校などを訪れると、楽しい空間とおいしい食事に出会えました。

(編集委員・米森)



市役所地下食堂

(鹿児島市役所=山下町)

2023年5月に新たにオープンした。3月まで約60年間営業していた前の業者に代わり民間会社が運営。メニューはおよそ30種で、前食堂で人気だったちゃんぽん(690円)などは味を引き継いでいる。インスタでも定食を日替わりで紹介。歴史のある建物内だが、店内は新しくなり明るい雰囲気、市職員でなくても入りやすい。

- ①リニューアルで明るい雰囲気になった食堂フロア
- ②市役所本館の横にある入り口。館内の階段からも出入りできる
- ③前事業者のレシピを受け継いだ人気のちゃんぽん

水産食堂

(鹿児島大学水産学部=下荒田4丁目)

昨春リニューアルオープン。明るい雰囲気になり、一般客が利用しやすいよう、新たにキャンパス外の道路から直接入れる出入り口も造った。陳列棚にはサバ味噌煮、ししゃもフライなどの皿が並ぶ。訪れたときは鮭トロ丼(473円)を提供していた。水産を学べる場所として、キビナゴなど鹿児島の魚類を使ったフェアなども開催している。



- ①フロアで昼食をとる留学生の姿も
- ②鮭トロ丼やししゃもフライ、鯖味噌煮など魚のメニューもおすすめ



つるまるキッチン

(県歴史・美術センター黎明館=城山町)

1階にあり、いちき串木野市のしょうゆ醸造会社が運営。自社のしょうゆにこだわる。「出汁薫る和風カレー(白身魚フライ付き)」(1,150円)が人気だそう。おすすめは「卵かけごはんとお味噌汁セット」(650円)。醤油が引き立てる素朴な味がなんともいえない。

- ①黎明館の1階にある食堂のロゴ
- ②フロアは黎明館を訪れたご婦人たちが家族連れで賑わう
- ③店自慢のしょうゆを使った卵かけご飯はおすすめ

グリップから手を離すだけで駐車ブレーキがかかる、新たなブレーキシステム



グリップから手を離すだけで駐車ブレーキがかかります(①)。グリップを握ると駐車ブレーキが解除され歩行可能となります(②)。その状態でブレーキレバーを握ると制動ブレーキが作動します(③)。



ネイビー
JAN 4938765021199



折り畳み時

アルミ 塗装 仕上げ	最大使用 質量 80 kg	下袋最大 積載質量 5kg	フック最大 耐荷重 2kg
------------------	-------------------------------	----------------------------	----------------------------

ジスタ / Zista WAW33

¥99,000(税込) ¥90,000(税抜)

品番	WAW33
組立て寸法	幅 480×奥行 600×高さ 715～925 mm
折り畳み寸法	幅 480×奥行 370×高さ 780 mm
押し手高さ	700～910 mm 8ポジション
座面寸法	幅 295×奥行 230 mm
座面高さ	465 mm
袋寸法	幅 290×奥行 195×高さ 180 mm
重量	5.9 kg
材質	本体：アルミニウム合金、座面：ポリエステル 袋：ポリエステル

※各寸法、重量は参考値です。



介護用品あれこれ

介護用品あれこれ

～「ヒヤリ・ハット ゼロを目指した歩行車」のご紹介～

(株)カクイックスウィング 作業療法士、福祉用具プランナー管理指導者 湯脇 稔

はじめに

2020年10月号では「できるを増やせる前腕支持型歩行車リトルターンZ」を紹介させていただきましたが、今回はヒヤリ・ハット ゼロを目指して開発された、幸和製作所の「駐車ブレーキ操作が不要な歩行車」ジスタ (Zista) を紹介させていただきます。

ジスタ開発のコンセプト

「認知症ではない認知機能の低下」は加齢と共に誰にでも起こりえる現象であり、福祉用具を利用する上では誤使用や操作忘れなどを機に事故へつながる可能性は否定できません。そこで、ヒューマンエラーを未然に防ぐ機能を搭載した、これからのスタンダードとなる歩行車として開発されました。

ジスタのポイント

① 駐車ブレーキ操作なし

従来の歩行車ではブレーキレバーを操作 (ロック) して駐車状態にしていましたが、ジスタはブレーキレバーを操作してなくても常にブレーキがかかっている状態であり、ご利用者がグリップ部に手を置くことではじめて歩行可能状態になります。
(歩行中のブレーキは従来通りブレーキレバーを握ることで作用します)

② 片側のブレーキレバー操作で両後輪のブレーキ操作が可能

片麻痺や関節リウマチなどで片方の握力が弱い、動きが悪い方など、左右のブレーキレバーを均等に操作することが難しいような状態において、片側のブレーキレバー操作することで両後輪のブレーキが作動します。

終わりに

歩行車をご利用中のヒヤリ・ハットの多くは、駐車ブレーキをかけ忘れた状態で立ち座りするといった「人的要因」に起因することが分かっています。他にも、ご利用者が意図しないにも関わらず駐車ブレーキが解除されてしまう「歩行車の構造上の要因」の事例などが挙げられています。新型歩行車ジスタは、これらの要因の払拭を目指し、「次のスタイル」であり、「次のスタンダード」となるような新しい歩行車として開発されました。

*文・写真 株式会社 幸和製作所 商品説明資料より引用。

*ジスタの発売は2024年2月より開始予定です。



⑫アンダンテ伊集院
〒899-2503 日置市伊集院町妙円寺3-1303-10
☎099-272-5181 FAX 099-272-5999

湯田内科病院
ケアセンターリエゾン日置
(居宅介護支援事業・訪問介護事業)



⑬ラ・フォンテいずみ
〒899-0214 出水市五万石町281
☎0996-62-7005 FAX 0996-62-7008

しもぞのクリニック
ラ・フォンテいずみ居宅介護支援事業所



⑭グリーンフォレストみかさ
〒899-1131 阿久根市脇本字柞木迫6313-1
☎0996-75-3222 FAX 0996-75-3238

黒木胃腸科外科医院
グリーンフォレストみかさ訪問看護ステーション
阿久根市在宅介護支援センターみかさ



⑮ライフハーバーいちき
〒899-2103 いちき串木野市大里2901-2
☎0996-36-5353 FAX 0996-36-5352

丸田病院
吹上園・市来松寿園
市来町在宅介護支援センター



⑯グレースホーム
〒895-1106 薩摩川内市東郷町斧洲8920番地
☎0996-21-6311 FAX 0996-21-6313

上村病院
グレースホーム訪問看護ステーション
グレースホーム居宅介護支援事業所



⑰ゆくさ白浜
〒896-0064 いちき串木野市羽島265-15
☎0996-35-0800 FAX 0996-31-0070

えんでん内科クリニック
(居宅介護支援事業・訪問介護事業)
グループホームもぜ

鹿児島地区



①城山老健
〒890-0014 鹿児島市草牟田1-4-10
☎099-225-3582 FAX 099-224-4096

植村病院
ケアハウス出かい坂
居宅介護支援・訪問介護センター草牟田出かい坂



②スイートケアなかよし
〒890-0005 鹿児島市下伊敷1-1-5
☎099-223-3390 FAX 099-222-6541

玉水会病院
いしき訪問看護ステーション



③城西ナーシングホーム
〒890-0046 鹿児島市西田1-16-1
☎099-258-9180 FAX 099-257-5712

土橋病院
居宅支援事業所(居宅支援・訪問看護・訪問介護)
デイサービスセンター ケアガーデン西田



③ニューライフいずみ
〒899-0217 出水市平和町336-1
☎0996-63-8000 FAX 0996-63-3161

吉井整形外科内科中央病院
ユニット型老健グランアージュ
鶴寿園(特別養護老人ホーム)



④長生園ナーシングセンター
〒895-0076 薩摩川内市大小路町51-3
☎0996-22-1121 FAX 0996-22-1120

永井病院
在宅介護支援センター 長生園
グループホーム 自立の家



⑤回生苑
〒899-1611 阿久根市赤瀬川551
☎0996-72-1661 FAX 0996-73-3788

内山病院
阿久根市在宅介護支援センター
桜ヶ丘荘(特別養護老人ホーム)



⑥さるびあ苑
〒896-0002 いちき串木野市春日町63
☎0996-32-8841 FAX 0996-32-8873

宮之原循環器内科
串木野市在宅介護支援センター
慈正会居宅介護支援事業所



⑦シルバーセンター光の里
〒899-2503 日置市伊集院町妙円寺1丁目1-6
☎099-273-5600 FAX 099-273-5700

前原総合医療病院
グループホーム あったかハウス
訪問看護ゆの里・訪問介護ふる里



⑧グリーンライフ川内
〒895-0065 薩摩川内市宮内町磯田2633
☎0996-20-2500 FAX 0996-20-2570

今村クリニック(整形外科)
薩摩川内市在宅介護支援センター
薩摩川内市ホームヘルパー事業(老人と障害者)



⑨パラディーノほたるの里
〒895-2104 薩摩郡さつま町柏原493-5
☎0996-53-1010 FAX 0996-53-1007

立志病院
鶴田町在宅介護支援センター
居宅介護支援事業所 パラディーノほたるの里



⑩グラン・ベリテわき
〒895-1203 薩摩川内市樋脇町市比野2995
☎0996-38-2500 FAX 0996-38-2600

市比野記念病院
翠泉苑(特別養護老人ホーム)
指月苑(養護老人ホーム)



⑪湯の浦ナーシングホーム
〒899-3303 日置市吹上町湯之浦1353
☎099-296-5411 FAX 099-296-5422

外科 馬場病院
居宅介護支援事業所
(湯の浦ナーシングホーム・馬場病院)

あなたの地域の介護老人保健施設 76カ所



⑦ろうけん始良
〒899-5652 始良市平松5062
☎0995-65-8091 FAX 0995-67-1474

希望ヶ丘病院
居宅介護支援事業所ろうけん始良
訪問介護事業所ろうけん始良



⑧青雲荘
〒899-5431 始良市西餅田3024番地1
☎0995-65-8181 FAX 0995-64-5255

青雲会病院
居宅介護支援事業所青雲



⑨アメニティ国分
〒899-4301 霧島市国分重久361-1
☎0995-64-0666 FAX 0995-45-4515

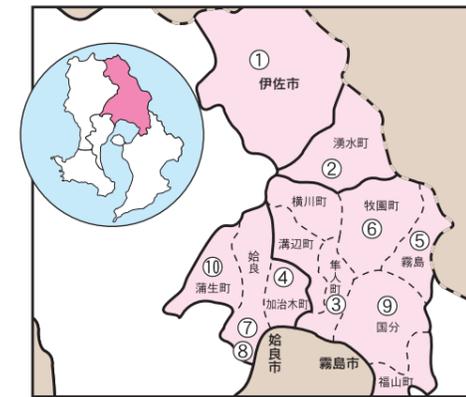
鶴木医院(指定介護療養型医療施設)
うのきデイサービス(認知症専用)
ヘルパーステーションアメニティ国分



⑩ろうけん大楠
〒899-5304 始良市蒲生町下久徳1249-1
☎0995-54-3333 FAX 0995-54-3338

ろうけん大楠グループホーム「たんぼほ」
ろうけん大楠居宅介護支援事業所
大楠苑(特別養護老人ホーム)

伊佐・始良地区




①はやひと
〒895-2504 伊佐市大口青木3022-33
☎0995-22-8000 FAX 0995-22-4868

大口温泉リハビリテーション病院
ことぶき園(特別養護老人ホーム)
グリーンハイツ周山(ケアハウス)



②寿芳苑
〒899-6202 始良郡湧水町北方1857
☎0995-74-3300 FAX 0995-74-2504

あいらの森ホスピタル
グリーン光芳(特別養護老人ホーム)
グループホーム愛の里



③希望の里
〒899-5111 霧島市隼人町姫城2-157
☎0995-43-1600 FAX 0995-43-2359

隼人温泉病院(療養型病床あり)
訪問看護ステーション姫城
グループホーム「ゆうゆう」



④シルバータウン加治木
〒899-5241 始良市加治木町木田4719-1
☎0995-62-5755 FAX 0995-62-5756

加治木温泉病院
加治木望岳園(特別養護老人ホーム)
龍門の里(軽費老人ホームA型)



⑤きりしま
〒899-4201 霧島市霧島田口2115-1
☎0995-57-3410 FAX 0995-57-3415

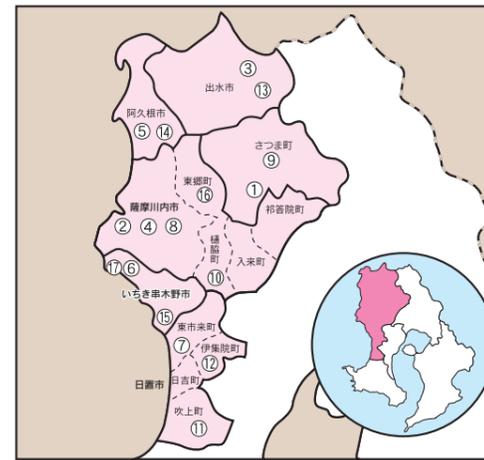
霧島杉安病院
訪問看護ステーションあんしん
グループホームゆめ



⑥サンライトホーム
〒899-6603 霧島市牧園町高千穂3617
☎0995-78-3811 FAX 0995-78-3387

霧島桜ヶ丘病院
霧島青葉園(身体障害者療養施設)
霧島青寿園(介護老人福祉施設)

日置・川薩・北薩地区




①クオリエ
〒895-1804 薩摩郡さつま町船木2311-8
☎0996-52-1100 FAX 0996-52-1134

クオリアリハビリテーション病院
訪問看護・リハクオリア
グループホームアリエ



②あじさい苑
〒895-0023 薩摩川内市横馬場町8-11
☎0996-23-6000 FAX 0996-23-6373

薩摩川内市在宅介護支援センターあじさい
きららクリニック
グループホームそら



⑦おさしお
 〒893-1103 鹿屋市吾平町麓3766-1
 ☎0994-58-5858 FAX 0994-58-5501
 グループホームきらら
 長崎内科
 陵幸園(特別養護老人ホーム)



⑧ハーモニーガーデン
 〒893-0014 鹿屋市寿4-1-43
 ☎0994-41-7800 FAX 0994-41-7802
 平和台病院
 介護保険相談センターハーモニーガーデン



⑨コスモス苑
 〒891-2124 垂水市錦江町1-140
 ☎0994-32-5200 FAX 0994-32-5280
 垂水市立医療センター、垂水中央病院
 垂水市立在宅介護支援センターコスモス苑
 居宅介護支援事業所コスモス苑



⑩みなみかぜ
 〒893-2301 肝属郡錦江町神川188-1
 ☎0994-22-3100 FAX 0994-22-3105
 肝属郡医師会立病院
 居宅介護支援事業所みなみかぜ



⑪サンセリテのがた
 〒899-8313 曾於郡大崎町野方6047-3
 ☎0994-71-0088 FAX 0994-78-3201
 はるびゅうクリニック
 訪問看護ステーションふるる
 居宅介護支援事業所サンセリテのがた



⑫ありあけ苑
 〒899-7402 志布志市有明町野井倉8288-1
 ☎099-477-2331 FAX 099-477-2335
 曾於医師会立訪問看護ステーション
 曾於医師会立居宅介護支援事業所



⑬絆
 〒891-2104 垂水市田神3536番地1
 ☎0994-32-6161 FAX 0994-32-6163
 池田温泉クリニック
 グループホームひまわり苑
 小規模多機能ホームひまわりの里

南薩地区



①指宿温泉菜の花苑
 〒891-0402 指宿市十町418-1
 ☎0993-24-3255 FAX 0993-22-3239
 今林整形外科病院
 明正会介護支援ネットワーク菜の花
 (居宅介護支援事業所)

曾於・肝属地区



①高原ナーシングホーム
 〒899-8602 曾於市末吉町栄町2-11-1
 ☎0986-76-1170 FAX 0986-76-6530
 高原病院
 末吉町在宅介護支援センター
 末吉訪問看護ステーション



②ナーシングホームひだまり
 〒893-0024 鹿屋市下祇川町1853
 ☎0994-41-1200 FAX 0994-41-1727
 鹿屋訪問看護ステーション
 居宅介護支援事業所ひだまり



③ケアセンターやごろう苑
 〒899-8102 曾於市大隅町岩川15515
 ☎0994-82-5963 FAX 0994-82-5964
 昭南病院
 大隅地域訪問看護ステーション



④老春苑
 〒893-1207 肝属郡肝付町新富525
 ☎0994-65-1500 FAX 0994-65-1160
 春陽会中央病院
 高山町在宅介護支援センター
 訪問看護ステーションたんばほ

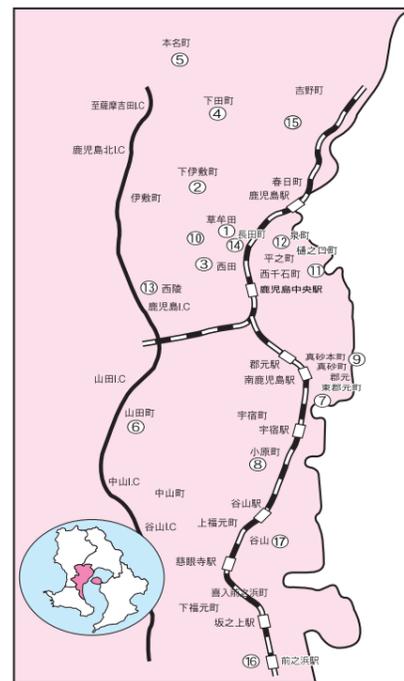


⑤ヴィラかのや
 〒893-0014 鹿屋市寿8-21-2
 ☎0994-44-0021 FAX 0994-44-1226
 恒心会おぐら病院
 居宅介護支援事業所ヴィラかのや
 訪問看護ステーションことぶき



⑥つわぶき
 〒899-7103 志布志市志布志町志布志1-13-3
 ☎099-472-5666 FAX 099-473-3494
 病院芳春苑(精神科)
 ケアハウスぬくもり
 グループホーム南の家族

あなたの地域の介護老人保健施設 76カ所



⑬ナーシングホーム田上苑
 〒890-0032 鹿児島市西陵6-21-18
 ☎099-283-0120 FAX 099-283-0517
 田上記念病院
 居宅介護支援事業所はるかぜ
 クレセール天保山(介護付有料老人ホーム)



⑭ナーシングホーム城山の森
 〒892-0854 鹿児島市長田町223
 ☎099-219-1122 FAX 099-219-1123
 中村(哲)産婦人科・内科
 博悠会温泉病院
 特別養護老人ホーム城山の森



⑮ろうけん青空
 〒892-0871 鹿児島市吉野町6040番地7
 ☎099-243-4330 FAX 099-243-5599
 明輝会クリニック
 グループホーム帯迫&ひばり
 小規模多機能ホームひばり



⑯サンシャインきいれ
 〒891-0205 鹿児島市喜入前之浜町7808-1
 ☎0993-43-1176 FAX 0993-43-1186
 特別養護老人ホーム喜入の里
 新田クリニック
 小規模多機能 前之浜



⑰光徳苑
 〒891-0141 鹿児島市谷山中央2-4515
 ☎099-260-9777 FAX 099-260-5093



④さくらんぼ
 〒892-0873 鹿児島市下田町1759
 ☎099-244-8811 FAX 099-244-8700
 鹿児島市在宅介護支援センターさくらんぼ
 ヘルパーステーションさくらんぼ
 居宅介護支援事業所さくらんぼ



⑤吉田ナーシングホーム
 〒891-1304 鹿児島市本名町472
 ☎099-294-4561 FAX 099-294-4562
 ケアプランセンター木蓮
 ヘルパーステーション ゆうばえ



⑥フレンドホーム
 〒891-0104 鹿児島市山田町450
 ☎099-260-6000 FAX 099-268-1540
 Tsukasa Health Care Hospital



⑦鴨池慈風苑
 〒890-0068 鹿児島市東郡元町11-6
 ☎099-252-8291 FAX 099-252-5526
 厚地脳神経外科病院
 厚地リハビリテーション病院
 在宅介護支援センター鴨池慈風苑



⑧愛と結の街
 〒891-0111 鹿児島市小原町8-3
 ☎099-260-6060 FAX 099-284-5689
 居宅介護支援事業所(居宅支援・訪問看護・訪問介護)
 谷山病院
 いづろ今村病院・今村総合病院



⑨ひまわり
 〒890-0067 鹿児島市真砂本町3-81
 ☎099-285-2211 FAX 099-258-7971
 大勝病院
 訪問看護ステーション真砂本町
 鹿児島市在宅介護支援センター真砂本町(居宅)



⑩まろにえ
 〒890-0014 鹿児島市草牟田2-26-45
 ☎099-226-3270 FAX 099-226-3271
 米盛病院
 マロニエ訪問看護ステーション「護国」
 整形外科米盛病院居宅介護支援事業所



⑪西千石
 〒892-0847 鹿児島市西千石町8-13
 ☎099-223-3300 FAX 099-223-3560
 日高病院
 介護相談センター西千石
 ヘルパーステーション西千石



⑫あさひ
 〒892-0822 鹿児島市泉町8-2
 ☎099-225-8660 FAX 099-225-8601
 中央病院
 桜島病院
 桜島苑(特別養護老人ホーム)

新年、世界の平和を願いながら

祝迫正豊

新しい年が始まった。
「年を重ねるごとに一年が早く感じられる」。同年代はみな感じているようだ。昨年の11月、指宿市の温泉宿に懐かしい顔の同級生が集った。穎娃の母校、宮脇小学校を昭和40年に卒業。コロナ感染で延期になっていた古希同窓会だ。関東、中部、関西、福岡、アメリカからの前日到着組、それに地元鹿児島在住者が集まった。早めに到着したメンバーで8コースのパターゴルフを楽しんだ。みなさん、いい年齢になったがお元気だ。



表紙絵「窓辺 MORNIG」 F 20号

天気は快晴。方言丸出し、穎娃の英語が飛び交った。お茶畑は「チャパッケ」、さつまいもは「カレモ」…。小学校当時、今週の努力目標に「方言を使わない」があった。5枚のレッドカードで放課後、居残り掃除をした苦い思い出。あだ名のことでケンカした話など一緒に笑った。久しぶりに童心に戻った。

宿の湯船から上がり夜の宴会は始まった。まずは記念撮影。先だった同級生や故人を思い黙祷をした。恩師にいつも叱られっぱなしだった3人組の話、褒めてもらった話など懐かしんだ。恩師に褒められたことはずっと大切な思い出、励みになっていると語る。

会の締めめに懐かし校歌を歌った。アンコール!と声があがる。歌いながら涙もろくなっている自分に気がつく。良い日、いい時間になったと握手…それぞれ帰途についた。

小学校同窓会は、地元に住む心強いメンバーがその都度企画し、準備から当日とお世話してくれる。おかげさまで。感謝です。

新年号の表紙の絵、「窓辺 MORNIG」は窓からの印象。切りカットの花瓶の花と錦江湾の風景を構成し描いた。ほぼ花屋でアレンジされた花束、そのままセロハンを外し愛でた。

暖かい赤や黄の薔薇の花はソフトな色調に、葉も輪郭がないように意識して描いた。

日々、自分らしい作品になるまで絵の具を塗るしかない。身近にあるモチーフは楽しく描きたいと思う。近年、世界情勢は厳しく、戦争・争いで目に余る、見るに絶えない状況だ。新年を迎え平和な世界になるように祈る。



- 作家略歴：祝迫 正豊 (いわいざこ まさとよ)
- 1952年 南九州市生まれ 1986年 第70回二科展「特選」、鹿児島市「新人賞」
 - 1988年 第43回南日本美術展「パリ賞」翌年フランス留学、パリ市で個展、第35回県展 県展賞(最高賞)
 - 1992年 第77回二科展「二科賞」(最高賞)、他に会友賞、会員賞
 - 1993年 文化庁現代美術展選抜展(全国巡回)
 - 2000年 鹿児島県芸術文化奨励賞
 - 2021年 南日本美術展「委嘱作家賞」
 - 2023年 第107回二科展「東京都知事賞」
- 現在、二科会会員、南日本美術展委嘱作家、鹿児島純心大学・鹿児島純心女子短期大学非常勤講師

編集後記

◇昨年11月、仙台市で開かれた全国介護老人保健施設大会に参加しました。宮城大会は2020年開催予定でしたが、コロナ禍で先送りされました。全国大会は一大イベントです。今回運営に当たったのは実行委員30人、お手伝いスタッフ120人になったそうです。ご苦労さまでした。

◇演題発表の各会場を見て回りました。全国から集った若い人たちが、地方なまりをにじませながら介護の方法や職場改善などについて懸命に成果を披露。次世代が介護・福祉に打ち込む真摯な姿に心を打たれました。鹿児島関係者も堂々と発表して、頼もしく感じました。

◇昨年はウクライナだけでなく、パレスチナでも戦闘が勃発。地球上のどこかで戦いやいさかいによって人々の血が流れています。今年は辰(たつ)年。辰は最も縁起のいい干支といわれます。平和で穏やかな日が続くことを祈っています。(米)

編集委員

- 米森 俊一(県老人保健施設協会理事)
- 加治屋 洋(さるびあ苑)
- 谷山 尚(さくらんぼ)

ろうけん鹿児島

(令和6年冬号) 通巻114号 無料

令和6年1月1日発行
編集人 米森俊一
発行人 今村英仁
印刷所 濱島印刷株式会社 鹿児島市上之園町17-2
発行所 公益社団法人 鹿児島県老人保健施設協会

TEL:090-0063
鹿児島市中央町8番地1 県医師会館30F
電話090(90)01-077 FAX090(90)01-078
E-mail:k-roken@po.mlc.ne.jp
Website:https://kagoshima-roken.or.jp/

熊毛・大島地区



①わらび苑
〒891-3101 西之表市西之表2981-1
☎0997-22-2600 FAX 0997-22-2601
社会医療法人義順顕彰会 種子島医療センター
わらび苑居宅介護支援事業所



②沖永良部寿恵苑
〒891-9112 大島郡泊町和泊95-1
☎0997-92-3691 FAX 0997-92-3650
福山医院



③虹の丘
〒894-0046 奄美市名瀬小宿字苗代田3416-1
☎0997-54-8888 FAX 0997-54-8800
虹の丘訪問介護事業所
虹の丘居宅介護支援事業所
在宅介護支援センター虹の丘



④風花苑
〒891-9306 大島郡与論町麦屋字風花1305-5
☎0997-97-5011 FAX 0997-97-5012
龍美クリニック



⑤せとうち
〒894-0036 大島郡瀬戸内町大字阿木名1975
☎0997-73-1155 FAX 0997-72-4913
奄美中央病院
南大島診療所



⑥アマンデー
〒894-0504 奄美市笠利町節田字大湊1451-1
☎0997-63-1555 FAX 0997-63-0099
朝沼クリニック(診療所)
居宅介護支援事業所たちがみ
在宅介護支援センターたちがみ



⑦サザンコート
〒891-7101 大島郡徳之島町亀津7268
☎0997-83-0061 FAX 0997-83-0093
医療法人南溟会 宮上病院
社会福祉法人奄美同仁会 特別養護老人ホーム 南風園



⑧秋名の郷
〒894-0332 大島郡龍郷町幾里字浜崎179
☎0997-62-4111 FAX 0997-62-4110
秋名の郷通所リハビリテーション
秋名の郷訪問介護事業所



⑨愛心園
〒894-0032 大島郡天城町瀬滝398番地
☎0997-85-5501 FAX 0997-85-5502



②かわなべ寿光苑
〒897-0221 南九州市川辺町田部田4848-4
☎0993-56-4311 FAX 0993-56-4331
菊野病院
寿光苑在宅介護支援センター



③エスポワール立神
〒898-0048 枕崎市火之神町630
☎0993-73-2266 FAX 0993-73-2265
小原病院
立神リハビリテーション温泉病院
ピースフル立神(介護老人福祉施設)



④指宿やすらぎ園
〒891-0304 指宿市東方7531
☎0993-24-5593 FAX 0993-24-5912
指宿竹元病院
指宿みどり館(認知症高齢者グループホーム)
老人性認知症センター



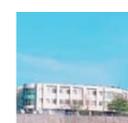
⑤ラポール吉井
〒897-0001 南さつ市加世田村原1丁目10-10
☎0993-53-8888 FAX 0993-53-8788
アルテンハイムリハビリテーションクリニック本町
加世田アルテンハイム
グループホーム までしこ



⑥シルバーライフちゃん
〒891-0911 南九州市知覧町塩屋16016
☎0993-85-4095 FAX 0993-85-4096
ちゃんクリニック



⑦さつま野菊園
〒897-1302 南さつ市笠沙町赤生木11372-397
☎0993-63-1000 FAX 0993-63-1950
大迫医院
フレンドリーハウス のぎく(グループホーム)
特別養護老人ホーム 石垣の里



⑧ヴァンペールみどりの風
〒891-0514 指宿市山川大山2056-4
☎0993-35-3355 FAX 0993-35-3522
指宿浩然会病院
指宿訪問看護ステーション
居宅介護支援事業所



⑨サザンケアセンター
〒898-0011 枕崎市緑町236
☎0993-72-8855 FAX 0993-72-9233
サザン・リージョン病院
サザン訪問看護ステーション
南方園(介護老人福祉施設)

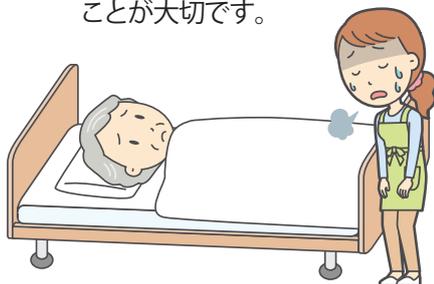


⑩指宿温泉ケアサポート
〒891-0311 指宿市西方1050番地
☎0993-25-3653 FAX 0993-25-5393
医療法人聖仁会

高齢者虐待の防止・早期発見のために 地域で支え合いましょう。

理解

虐待が起きる要因は様々です。介護する側・される側双方の不安や悩みを理解することが大切です。



見守り

ご近所に気になる高齢者や介護をしている家族がいたら、ちょっとした声かけをお願いします。



相談

困りごとを抱えている高齢者や家族がいたら、地域包括支援センター等への相談を勧めましょう。



地域や介護事業所の方

『虐待かもしれない…?』と思ったら!

お住まいの

市役所・
町村役場

または

地域包括
支援センター

に

迷わずご相談ください。

※市町村や地域包括支援センターの職員には、守秘義務が課されています。

※相談窓口となるお住まいの市町村及び地域包括支援センターについては、県ホームページにも掲載しています。

高齢者虐待防止 鹿児島

検索

認知症に関する相談

[公益社団法人認知症の人と家族の会鹿児島県支部]

(相談日/月~金 10:00~16:00) ※祝日、年末年始は除きます。

TEL.099-257-3887

TEL.099-251-4010 (若年性認知症相談窓口)